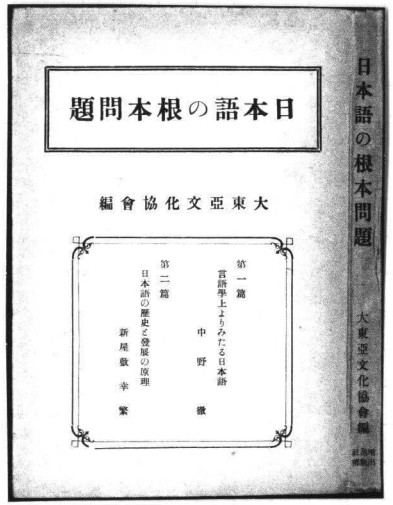
新屋敷幸繁（しんやしきゆうはん）國文學者、詩人。明治三十一年四月十五日沖繩縣中頭郡與那城村生れ、昭和六十年七月十五日（一八九九―一九八五）。大正八年沖繩縣師範學校卒。十一年文部省檢定試驗國語科合格、のち漢文科、高等教員檢定國語合格。鹿兒島縣第一中學を經て、昭和四年第七高等學校造士館勤務。六年國文學研究誌『日本文學』創刊。妻ゆる子も詩人。

著書に、詩集『生活の挽歌』（大正十五年十月）日綠蔭社「人生詩人叢書」）、『蕃華集（まんそうしふ）』（昭和十五年七月十日日本文學社「日本古典兒童版」）、『古事記』（昭和十七年九月十八日開發社「開發社少國民版」）、『日本語の根本問題』（中野徹合著・大東亞文化協會編、昭和十八年二月十日增進社出版部）、『藤原鎌足公』（昭和十八年六月十日學習社「學習社文庫」）、『一豐とその妻』（昭和十八年七月二十五日開發社「開發社少國民版」）等。